

横須賀市告示第 107 号

地方自治法第 243 条の 3 第 1 項及び横須賀市財政事情の公表に関する条例並びに地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、本市の財政状況を次のとおり公表します。

令和 7 年 6 月 2 日

横須賀市長 上 地 克 明

横 須 賀 市 の  
財 政 状 況

# 1. 令和6年度予算執行の状況（令和7年3月31日現在）

## 一般会計

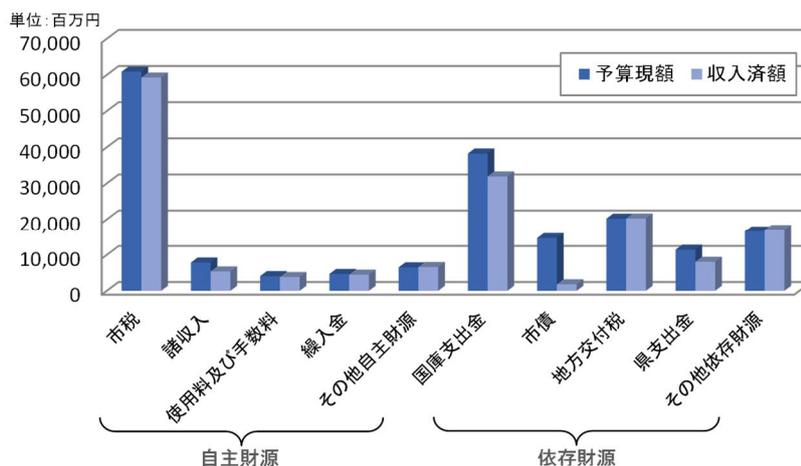
### 歳入

#### 〔収入の状況〕

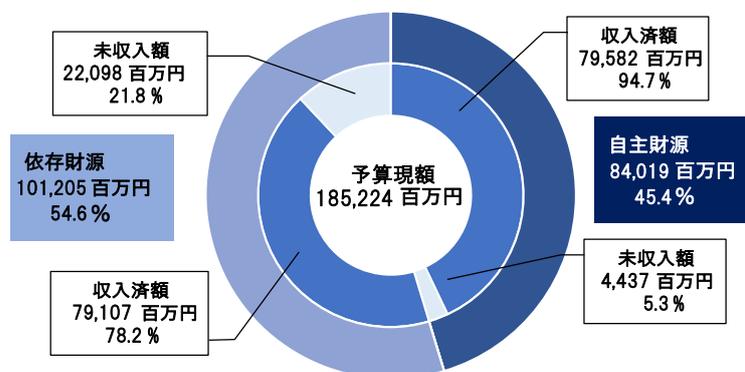
(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入済額	執行率 (%)
自主財源	84,019	79,582	94.7
市税	60,881	59,275	97.4
諸収入	7,851	5,382	68.6
使用料及び手数料	4,085	3,835	93.9
繰入金	4,685	4,490	95.8
その他自主財源	6,517	6,600	101.3
依存財源	101,205	79,107	78.2
国庫支出金	38,268	31,928	83.4
市債	14,676	1,818	12.4
地方交付税	20,228	20,264	100.2
県支出金	11,424	8,058	70.5
その他依存財源	16,609	17,039	102.6
合 計	185,224	158,689	85.7

#### 〔項目別 収入の状況〕



#### 〔自主財源・依存財源別の収入の状況〕



#### 自主財源と依存財源

自主財源は、市税のように市が自主的に収入できるものです。これに対し、依存財源は、ある条件を満たした場合に国や県から交付を受けるものです。安定した行政運営のためには全体に占める自主財源の割合が高いことが望まれます。

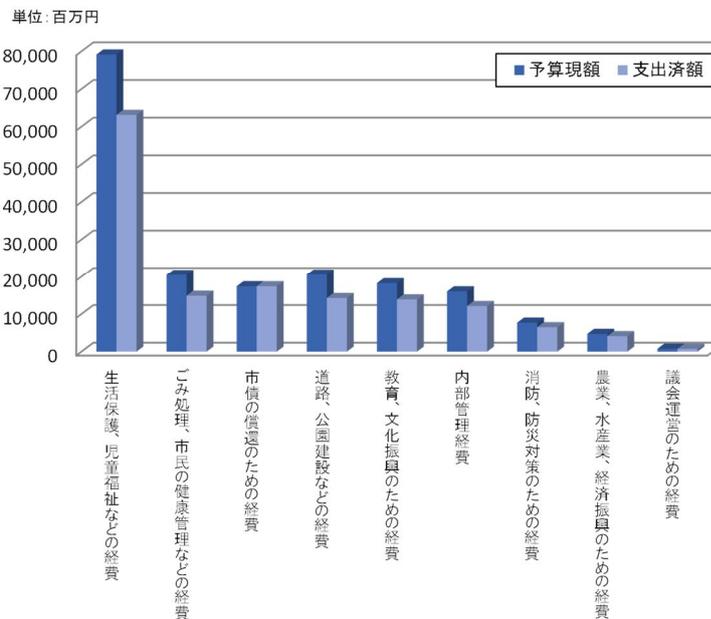
## 歳出

### 〔支出の状況〕

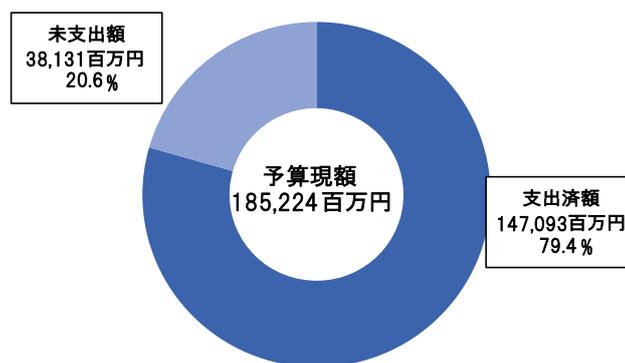
(単位：百万円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	79,164	63,126	79.7
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	20,518	14,889	72.6
市債の償還のための経費	17,405	17,404	100.0
道路、公園建設などの経費	20,637	14,270	69.1
教育、文化振興のための経費	18,242	13,894	76.2
内部管理経費	16,028	12,130	75.7
消防、防災対策のための経費	7,718	6,498	84.2
農業、水産業、経済振興のための経費	4,732	4,127	87.2
議会運営のための経費	780	755	96.8
合 計	185,224	147,093	79.4

### 〔項目別 支出の状況〕



### 〔全体の支出の状況〕



#### 予算現額とは

市は毎年度予算を編成したあとで、当初の予算を変更することがありますが、これを予算の補正といいます。補正を行ったあとの予算の額、つまり、現在の予算額を「予算現額」と呼びます。

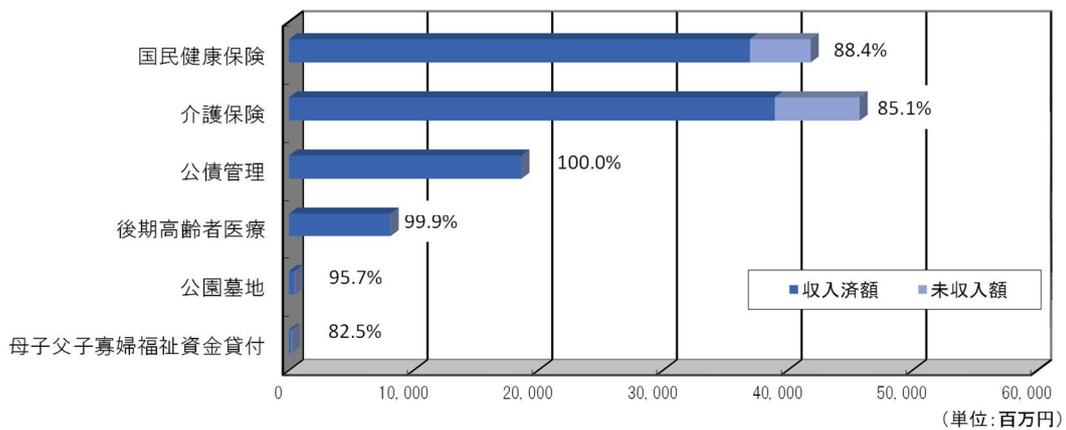
## 特別会計

### 歳入歳出の状況

(単位：百万円)

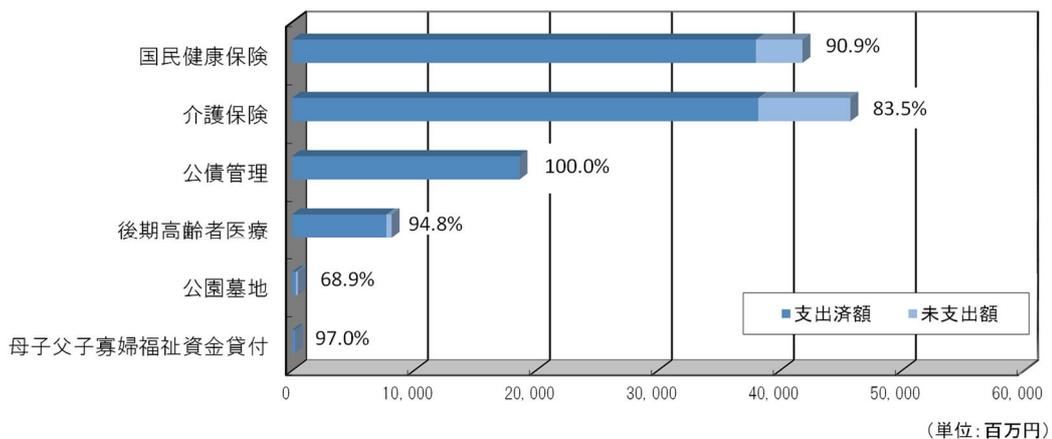
区 分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	41,840	36,968	38,028
介護保険	45,769	38,958	38,222
公債管理	18,645	18,643	18,643
後期高齢者医療	8,160	8,148	7,733
公園墓地	470	450	324
母子父子寡婦福祉資金貸付	234	193	227
合 計	115,118	103,360	103,177

### 歳入



※表示の%は執行率を表します。

### 歳出



※表示の%は執行率を表します。

## 企業会計

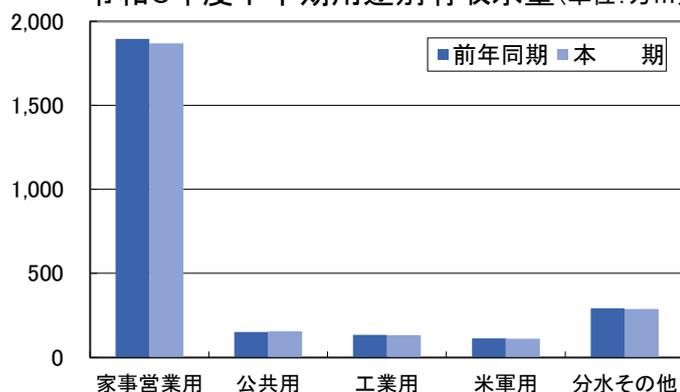
### 水道事業

〔経理状況〕

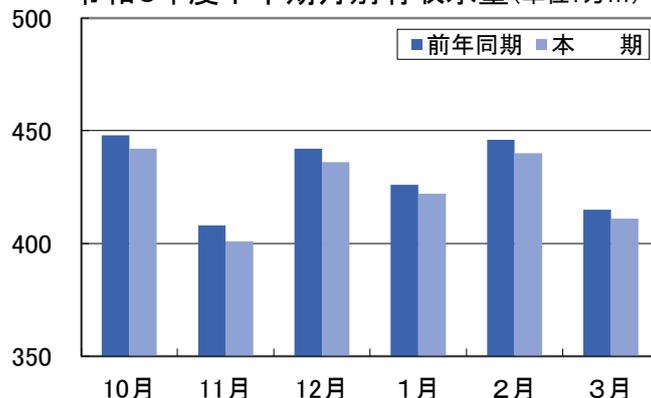
(単位：百万円)

区 分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収 入	10,999	11,035	100.3
	支 出	10,066	9,672	96.1
資本的	収 入	2,967	2,164	72.9
	支 出	7,870	6,656	84.6

令和6年度下半期用途別有収水量(単位：万m<sup>3</sup>)



令和6年度下半期月別有収水量(単位：万m<sup>3</sup>)



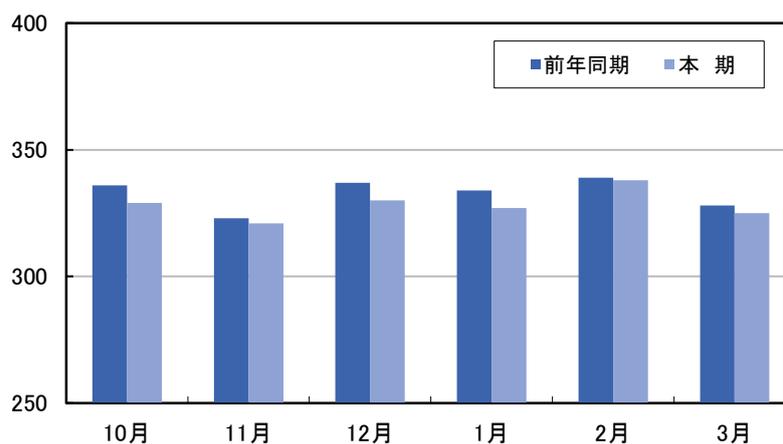
### 下水道事業

〔経理状況〕

(単位：百万円)

区 分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収 入	15,751	15,830	100.5
	支 出	15,593	14,777	94.8
資本的	収 入	9,313	9,487	101.9
	支 出	17,678	13,599	76.9

令和6年度下半期の月別有収水量(単位：万m<sup>3</sup>)



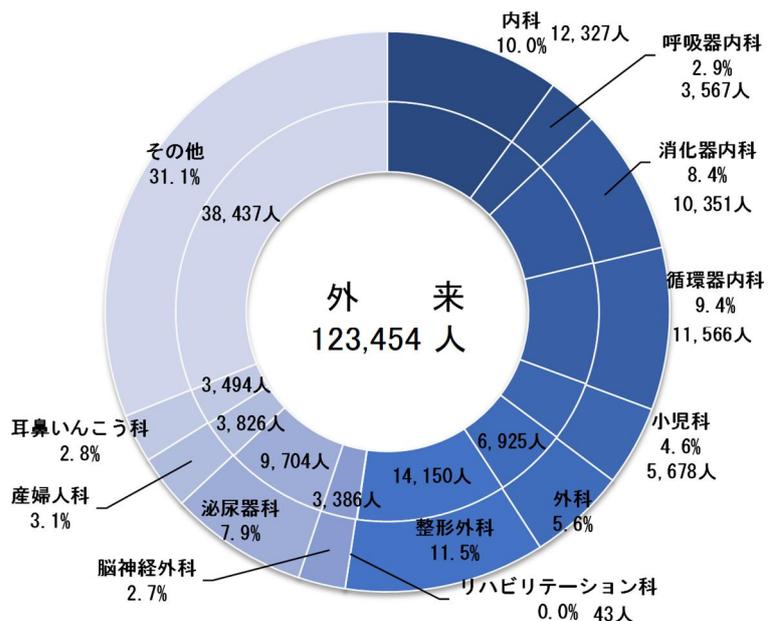
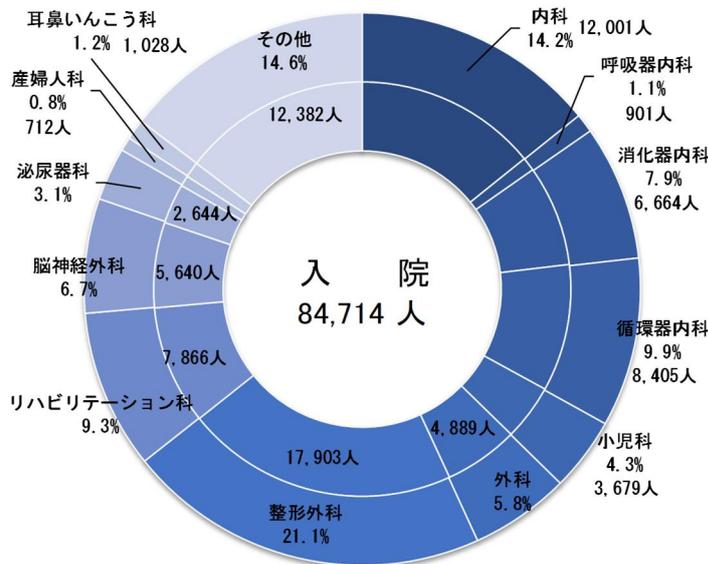
## 病院事業

### 〔経理状況〕

(単位：百万円)

区 分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収 入	3,111	2,716	87.3
	支 出	2,476	2,212	89.3
資本的	収 入	19,719	18,204	92.3
	支 出	20,320	18,820	92.6

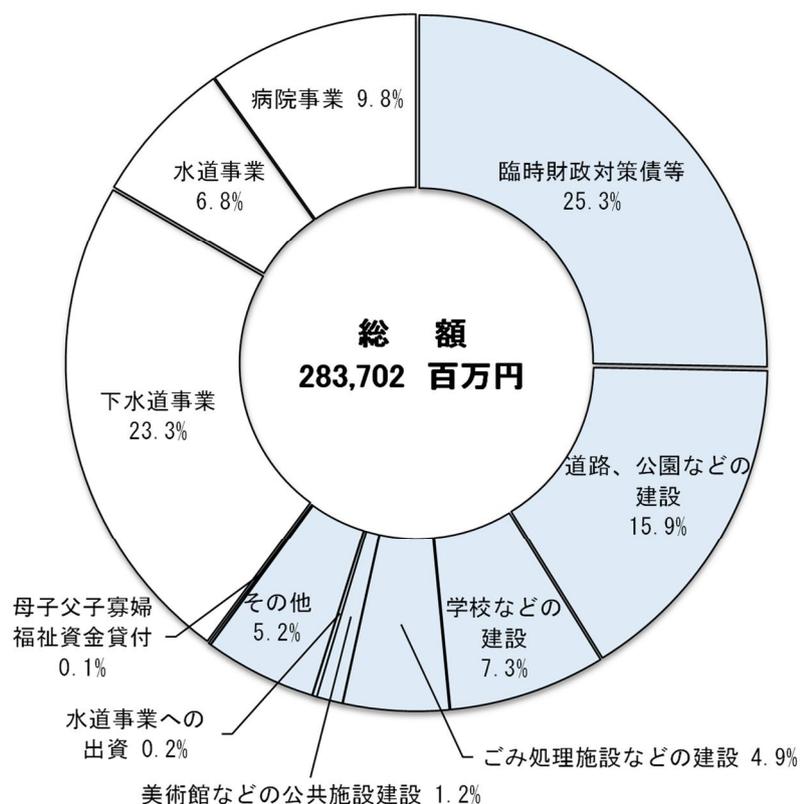
### 〔令和6年度下半期の患者診療科別割合〕



#### 収益的収入・支出及び資本的収入・支出とは

サービス提供にかかる経費とそれに対する料金収入といった、企業の経営活動に伴い生じる経費とそれに対する収益を、収益的収入・支出といいます。一方、建設整備のための経費やそれにかかる企業債の償還金などの支出と、建設整備の財源となる企業債などの収入を資本的収入・支出といいます。

## 2. 市債の現債額（令和7年3月31日現在）



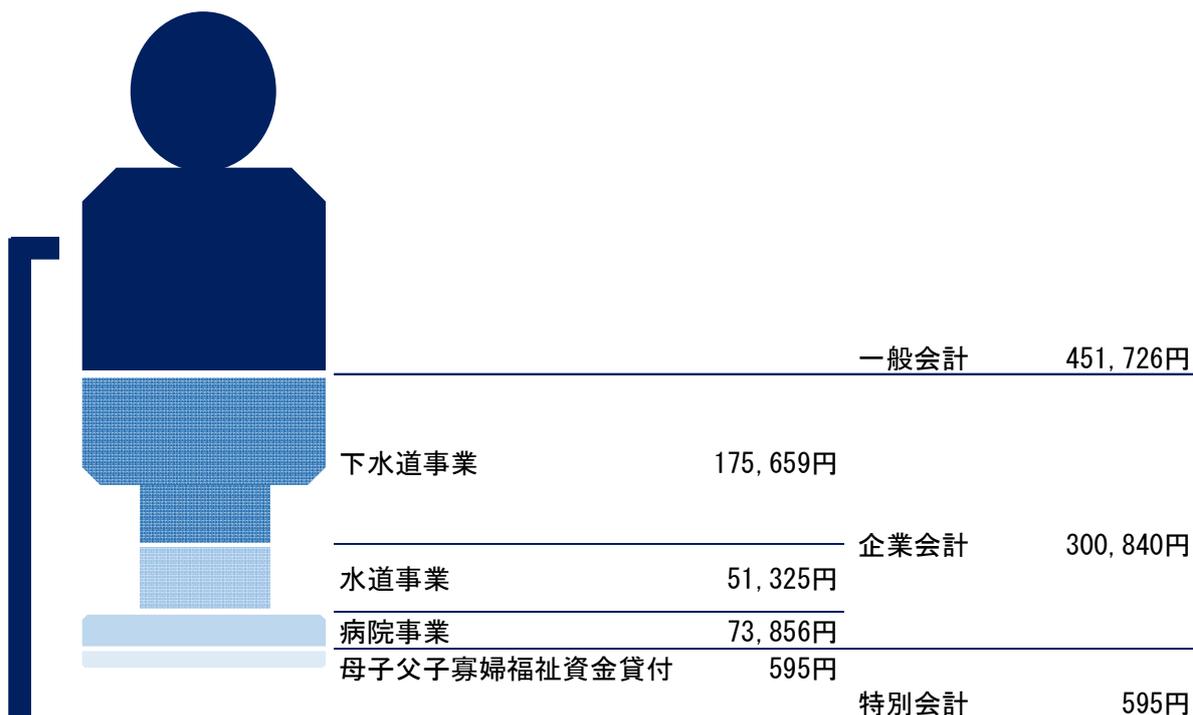
(単位：百万円)

区 分	現 債 額
<b>一 般 会 計</b>	<b>170,157</b>
通 常 債	98,351
道路、公園などの建設	45,064
学校などの建設	20,792
ごみ処理施設などの建設	13,993
美術館などの公共施設建設	3,277
水道事業への出資	535
その他	14,690
臨時財政対策債等	71,806
<b>特 別 会 計</b>	<b>224</b>
母子父子寡婦福祉資金貸付	224
<b>企 業 会 計</b>	<b>113,321</b>
下水道事業	66,168
水道事業	19,333
病院事業	27,820
<b>合 計</b>	<b>283,702</b>

**一般会計の市債：**市債とは市の借入金のことをいい、通常の建設事業等にかかる「通常債」や本来国から交付されるべき現金の振替措置として借り入れる「臨時財政対策債」等があります。

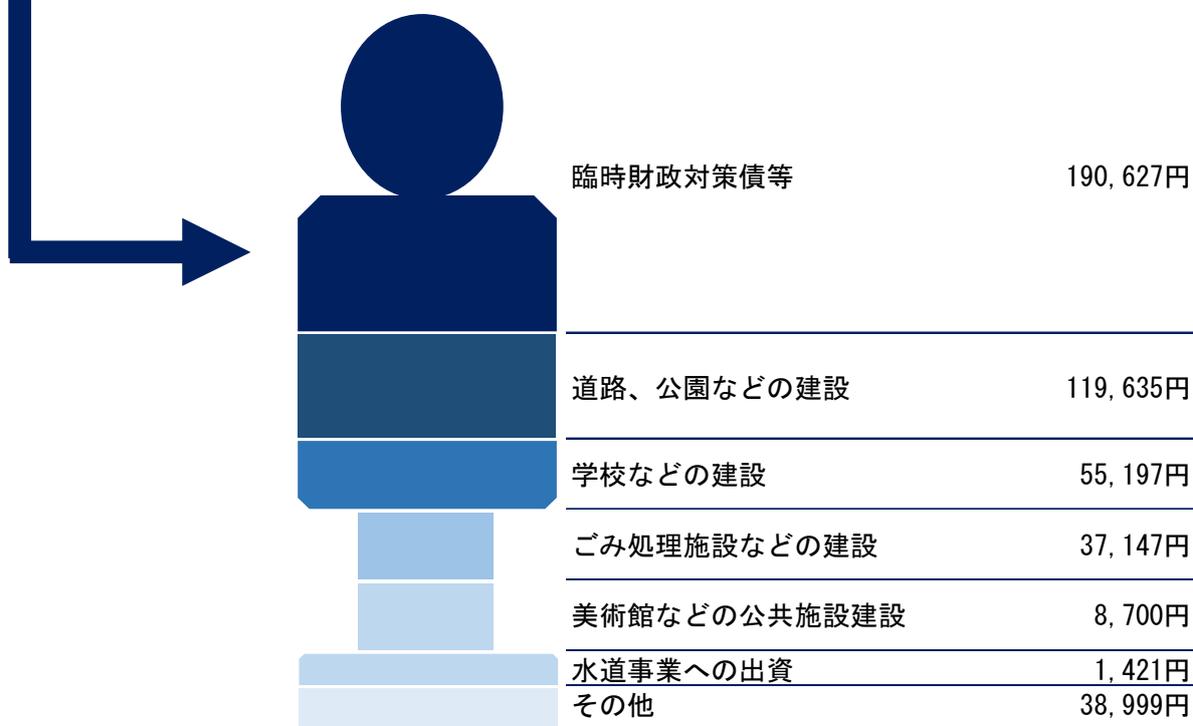
**通常債：**施設整備を行う場合など、一時的に多額の資金を必要とする場合に借り入れる市債で、翌年度以降、借入対象施設の耐用年数に応じて分割して返済していきます。整備された施設は将来の市民も利用するので、現世代だけでなく将来世代の応分の税負担も計算に入れて、世代間の負担を公平にするという考え方に基づいています。

**臨時財政対策債：**本来国から自治体へ地方交付税として再分配されるべき現金が、国の財源不足により全額が地方に配分されず、不足する額を一旦自治体が借り入れて対応するもので、返済額は後年度の地方交付税で補填されます。



**一般会計の市債現債額の内訳**

一般会計債 市民 1 人当たりの現債額 総額 451,726円



※人口は令和 7 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口 376,682 人を使用しています。

**特別会計・企業会計の市債**

特別会計・企業会計の市債は、特定の事業のための原資や設備投資を行うために発行するものです。返済には事業から得られる使用料などの収入が充てられます。

市有財産の現在高（令和7年3月31日現在）

（一般会計及び特別会計に属するもの）

種 別		現 在 高
公有財産	土 地	9,278,918m <sup>2</sup>
	建 物	1,244,295m <sup>2</sup>
	動 産	浮標等 42個
	物 権	地上権 257m <sup>2</sup>
	無 体 財 産 権	商標権 15件
	有 価 証 券	417,600千円
	出資による権利	3,466,428千円
債 権	768,610千円	
基 金	25,614,063千円	

**無体財産権とは**

特許法、著作権法、商標法などに基づき、発明、考案、創作活動などの無形の財産を独占的に利用できる権利のことで、知的財産権ともいいます。

**基金とは**

特定の目的のために財産を維持し資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金や財産のことで、家計でいう貯金にあたります。横須賀市は財源不足を生じたときの財源に充てることを目的とした財政調整基金や、いのちを守る医療等を支援するために必要な費用に充てることを目的とした、いのちの基金などがあります。

**3. 一時借入金の現在高（令和7年3月31日現在）**

0 円

**一時借入金とは**

一時借入金とは、地方公共団体が一会計年度内において支払現金が不足した場合、その不足を補うために借り入れる資金のことをいいます。

収入と支出を予算で計画していますが、実際にお金が入る時期と経費を支払う時期はずれが生じるため、支払いが多い時期には一時的に資金が足りなくなることがあります。

そのようなときに予算で定めた額を限度として一時的に金融機関から資金を借り入れることができます。